

平成29年度 第2回下関医療センター地域協議会  
(地域医療支援病院運営協議会) 議事概要

○ 日 時 平成30年2月14日(水) 19時00分～20時00分

○ 場 所 JCHO下関医療センター 2階カンファレンスルーム

○ 次 第

1. 開会

2. 院長挨拶

3. 議題

(1) 地域医療支援病院としての業務遂行状況について

・病院概要

・患者動向

・紹介、逆紹介動向

・地域の医療従事者に対する研修の実施状況

・奇兵隊ネット利用状況

・患者に対する相談体制

(2) 当院へのご意見・ご要望について

(3) 連絡事項

4. 閉会

○ 出 席 者

木下 毅	一般社団法人下関市医師会 会長
藤井 信	一般社団法人下関市歯科医師会 会長
浜田 幹生	一般社団法人下関市薬剤師会 副会長
大石 敦磨	下関市消防局 局長
村上 卓夫	東亜大学 副学長
内納 之雄	伊崎自治連合会伊崎町二丁目自治会 会長
佐々木功典	下関医療センター院長
山下 智省	下関医療センター副院長
玉栄 幸信	下関医療センター事務部長
古本たつ子	下関医療センター看護部長

(敬称略)

○ 議事概要

(1) 地域医療支援病院としての業務遂行状況について

・平成29年の業務報告について、資料をもとに説明。

・平成30年1月より整形外科の常勤医師不在による診療及び救急体制についての説明。

(2) 当院へのご意見・ご要望について

(委員) 高齢化地域において生活者の身体機能劣化が生じるが、予防措置としてプレリハビリを考える。そのような機能を持った施設ができればと思うし、体力増強を絡めた予防運動をPRして指導をお願いできればと思う。

(事務局) 併設の訪問看護ステーション、介護老人保健施設で対応しているところであります。急性期機能である当院としては、地域自治会単位への出張(出前)講座、昼休憩時間のリハビリ施設の開放等が考えられます。また、地域住民を対象とした健康フェアを毎年開催しており、理学療法士、スポーツインストラクター等による指導を今後も更に検討したいと思います。

(委員) 国からも医薬品の後発品数量80%の目標がある。保険薬局にしても更に推進していくが、処方箋の記載において、一般名処方(後発品を推進しやすい)にする予定があるか。

(事務局) コンピューターシステムに一般名処方のマスターを作成すれば、あとは医師の考え方に任せることで可能ではありますが、現状はコンピューターシステム上に問題があるため改善できれば対応を考えています。

(委員) 処方箋に検査値(腎機能値などにより用量チェックの参考になる)、病名(的確な服薬指導をするため)の記載を行う予定があるか。

(事務局) 検査値は、電子カルテに更新する際に仕様書に盛り込みたいと考えています。また、保険薬局も奇兵隊ネット\*に登録すれば、検査値等を閲覧することができますが、現状は登録料金の面で普及が進んでおりません。しかし、下関市外で薬剤交付を受ける場合もあり、奇兵隊ネット\*の利用がかなわないので、処方箋欄外に記載(印字)することは進めて良いと考えております。病名は、保険病名があり、患者さんがどう解釈されるか不明なため実施には時間がかかると考えております。

\* 奇兵隊ネット … 下関地域医療情報システム。下関協議会が運営するネットワーク。下関市内の総合病院に保管されている医療情報を専用回線で結び情報共有することにより、患者さんの診療に役立てるシステム。

(3) 連絡事項

・特になし